



2011~2012

会 報

R I 2720地区

The Hitoyoshi Rotary

人 吉

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために通 算 2682回
2011年11月18日
第 19 回 例 会
毎 週 金 曜 日Reach within to
Embrace Humanity

会報編集 塚本哲也委員長

2011-2012年度 R I 会長
カルヤン・バネルジー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171 ◀ 例会場 事務局 ▶ 清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://www.12.ocn.ne.jp/~hrc/> [E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

11月 ローターリー財団月間

点 鐘 宮原和広会長

歌 唱 ツギリダー 片岡忠雄SAA委員
国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 葉山プログラム委員長
来訪者紹介 宮原和広会長

少林寺拳法 人吉道院長 松岡孝徳 様
" 人吉球磨川道院長 西田裕二 様
人吉中央RC 勘米良孝会員

会長の時間

宮原和広会長

先週と打って変わって朝晩めっきり冷え込んでいます。会員の皆さん、風邪をひかれないように健康には十分注意して下さい。

昨日は11月の第3木曜日で、ボジョレ・ヌヴォーの解禁日でした。ボジョレ・ヌヴォーとは、フランスのブルゴーニュ地方南部に隣接する丘陵地帯・ボジョレーで生産されるヌヴォー（試飲新酒）仕様の赤ワインであるため、ボジョレーの通常の赤ワインとは異なります。その年に収穫されたブドウ（カメ種）の出来具合を確認するための試飲酒のことです。ヌヴォーはそもそも当地の農民が収穫を祝ったのが始まりで、本格的な輸出が始まったのは1968年、当初の解禁日は11月15日でしたが、1984年から11月の第3木曜日に改められました。理由は各メーカーがどこよりも早くヌヴォーを出荷し、ついにはワインとして十分出来上がっていないにもかかわらず出回るようになってしまったからだといいます。

それぞれの国の現地時間で11月の第3木曜日に午前0時に一般への販売が解禁され、日本は時差の関係から先進国の中で最も早く解禁の時を迎えると言われ、この時のためにワインとしては例外的に空輸されています。

塚本会員のお店でも17日午前0時より午前1時まで「試飲即売」が開催され、新酒を楽しむ

ワインファンの姿が昨日の人吉新聞に掲載されていました。会員の皆さんもヌヴォーをお目にされましたでしょうか？

12月2日は夫人の会『おいしいワインと音楽の夕べ』の開催となっていますので、ぜひ参加して楽しい一時を過ごして戴ければと思います。

先日、私の事務所に国際便が届きました。国際ロータリーから2012年5月6日～5月9日にタイのバンコクで開催される国際大会の案内でした。毎年地区で開催される地区大会と同じで世界各地の会員が一都市に集まり、毎会計年度の最後の3ヶ月間（4月～6月）に理事会の決定による場所で開催される国際行事です。「年次国際大会の主たる目的は、国際レベルにおいて、全ロータリアン、特に、次期クラブ会長、ガバナーエレクト、R I 及びロータリー・クラブの次期役員を鼓舞、激励し、かつ情報を与える事によって、地区レベルとクラブレベルにおけるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲を起こさせることである。」とその目的が手続要覧に書かれています。大会プログラムは、大会の目的、ロータリー財団のワークショップ、親睦活動、特別プロジェクト、本会議等、標準的な構成活動などからなっている様です。

2005年は、ロータリー創始100周年を祝って、ロータリー発祥の地である米国のシカゴで開催されました。その後、2008年ロサンゼルス、2009年バーミンガム、2010年モントリオール、2011年ニューオリンズ、そして今年度（2011-2012）はR I 会長カルヤン・バネルジー氏（インド）のもとで国際大会が開催されます。もし、国際大会に出席ご希望の方は、事務局にパンフレットを預けておきますのでご覧下さい。

ちなみに次年度（2012-2013）R I 会長は日本の田中作次氏（埼玉県八潮RC）に決まっております。ぜひ日本で開催される国際大会に参加されては如何でしょうか？

さて、本日は、職業奉仕委員会外部卓話となっております。職業奉仕委員会安達委員長のご紹介で少林寺拳法人吉道院長の松岡孝徳先生と、人吉球磨川道院長の西田裕二先生をお招きして卓話と技の披露をして戴きます。どうぞ宜しくお願い致します。

幹事報告

馴田信治幹事

【連絡事項】

- ・人吉市教育長堀秀行氏より「第58回人吉球磨総合美展」のお礼状及び開催目録
- ・熊本県広告景観向上委員会より平成23年総会結果のお知らせ
- ・国際ロータリー日本事務局よりR財団東日本震災復興基金の寄付締切延長のお知らせ
2011年12月末→2012年6月30日
現在支援プロジェクトのために基金570万ドルが集まっており、すでに330万ドルが使われています。との報告。

【例会変更】

八代東RC12/15→18:30～年忘れ家族会のため
八代ホワイトパレス
宇土RC12/14→家族親睦例会・ゴルフ大会のため
ゴルフ7:30～城南GC
懇親会17:00～ロンロン
〃 12/28→例会取止め
熊本西RC12/20→18:30～年忘れ家族会のため
全日空ホテルニュースカイ

【回覧】

人吉市国際交流協会たより第6号
玉名中央RC週報 八代南RC週報

～来訪者よりご案内～

人吉中央RC 勘米良孝会員

人吉市制70周年記念2011秋のじゅぐりっと博覧会
田中賢治チェロ名曲コンサートⅧ

2011年11月23日(水)

人吉カルチャーパレス小ホール

午後6時30分開演

入場2500円(高校生18歳以下無料)



【職業奉仕委員会 外部卓話】

講師紹介

安達玄一委員長

本日の卓話は少林寺拳法人吉道院長、松岡先生と、師弟関係になられます人吉球磨川道院長の西田先生をお迎えしました。西田先生には一度この例会に来ていただいておりますが、今日は少林寺拳法の技の紹介の為に応援で来て頂きました。

まず松岡先生から紹介致します。お名前が松岡孝徳様69歳になられます。この度、熊本県では初めてとなります少林寺拳法、正範士八段を取得され先日お祝いをしたばかりであります。球磨農高を卒業され神戸製鋼に入社、そこで出合った少林寺拳法との縁がきっかけとなり一念発起、29歳頃に神戸製鋼を退職され昭和46年に人吉道院を開設、今年が開設40周年となられます。当時はご家族の反対があったと聞き及んでいます。これまでの入門者は約1,000名に及ぶそうです。過去の役職は紹介し切れない位あり簡略しますが、熊本県少林寺拳法連盟理事長や人吉少林寺拳法協会理事長ほか多くの役職を歴任され、現在も善隣保育園体育館道場で指導をされています。お仕事は、神戸製鋼退職後は人吉に帰り色々な職業をされ、ご苦労されたみたいです。今は私と同じ生損保の保険代理店として活躍されています。私の知る限りでは、この郡市の中で一番誠実で暴力に強い保険屋さんだと思います。今日は松岡先生の一生を賭けた職業奉仕から青少年奉仕、社会奉仕までに通じる話が聞けるものと思います。お隣の西田先生は、正範士7段、人吉球磨川道院の道院長です。私の同級生で私の子供二人を入門させたご縁で私も現在お手伝いをしています。漆野会員の3人お子さんや石蔵会員のお孫さんが練習しています。去年設立20周年を迎え入門者は250名に及びます、ちなみに私は、ロータリーに入会した頃2段になり16年後の現在もそのまま変わらずアゴだけが上達しています。お二人には後で護身術である少林寺拳法の技を披露していただきたいと思いますので、どうか皆さんご覧下さい。以上で紹介を終わります。

卓 話

少林寺拳法

人吉道院長 松岡孝徳様



自己紹介と少林寺拳法との出会いは、先ほど安達さんから紹介いただきましたので省略いたします。ではこれから、私の48年間の体験と経験をお話させていただきます。

◇少林寺拳法開創の動機と目的

少林寺拳法を日本で始めて創始されたのは、皆様もう既にご存じの方が多くおられることと思いますが、「宗道臣」という方です。

私たち少林寺拳法の拳士が技術面でも精神面で

出席率報告

岩井和彦委員長

本日の出席率			
会員数	66名	79.03%	
出席免除	5名	11/4例会出席率	74.19%
欠席者数	12名	補 填 数	0名
出席者数	49名	修正出席率	74.19%

* 届け出欠席

赤池・本田・片岡・中川・永江・石原・木村・外山
友永・大賀・小林清・岩本泰

* 出席免除会員

(a) 石蔵 (b) 増田, 愛甲康, 山本, 釜田

も全ての教えの基本にしているのが少林寺拳法教範で御座います。この教範の第1ページの第1行目が『昭和20年8月9日午前四時、ソビエトロシアは、日ソ不可侵条約を、一方的に破棄して突如飛行機により満州国内の軍需施設に、猛爆撃を開始し、夜明けと共に、機械化されたソ連軍の大部隊は、各方面から一斉に国境を突破して、満州国内への侵攻を開始してきた。』という文言から始まっております。開祖宗道臣師が、少林寺拳法を創始されたときの動機は、この第一章の第一行の文言であったと思えます。

当時、開祖は満州国東部のソビエトとの国境近くの「綏陽」の町に住んでおられましたが、この町には国の重要な機関である「県の官・公・署」などが沢山あったそうです。

その重要な施設の職員や、国民を守る立場にある日本軍の兵士たちは、ソ連軍の参戦が知られる頃には、民間人を招集し、木銃を持たせて軍事施設や橋などの警備を命じ、「別の場所で戦うから」とだましておき、司令部をはじめ各部隊はソ連軍と一戦も交えることなく、朝のうちに家族と共に退去してしまっただけです。

このように、極限状態で人間の醜い現実を目の当たりにされた開祖は、それからの一年間をソビエト共産軍の軍政下で敗戦国民の惨めさと悲哀をいやというほど体験されました。イデオロギーや宗教や道徳よりも国家や民族の利害の方が優先し、力だけが正義であるかのような厳しい国際政治の現実を身を以って体験されたのです。

そして、その中で知り得た貴重な体験から、法律や軍事、政治の在り方は、イデオロギーや宗教の違い、国の方針だけで決まるのではなく、その立場に立つ人の人格や考え方の如何により大きな差がでることに気付かれたのです。(当時、満州で政権を握っていた頃の日本人も同様であったと開祖は話しておられました。)

このことにより、その後開祖の人生観が大きく変化していったことを述べておられました。

◇『人・人・人 全ては人の質にある』

人類社会の全ての事柄が『人』によって行われるものならば、真の平和の達成は、『慈悲心と、勇気と正義感の強い人間を一人でも多く育てる以外にない』ということに悟られ、「万一日本に生きて帰れたら、私学校を開き、志のある青少年を集め、これらに人としての道を説き、正義感を引き出して、勇気と、自信と、行動力を養わせ、祖国復興に役立つ人間を育成しよう」と決意されたのです。そうして昭和21年の夏、残留を勧めてくれる中国人有志の好意を振り切って日本に帰国されることとなります。

◇終戦直後の日本の現状

然し、夢にまで見た祖国日本は敗戦直後の混乱した時期で、戦火に荒れ果て、同義も人情もすたれ、いがみ合い傷つけあい他人の不幸は見

て見ぬふり、自分の幸せのみを考える人間に成り下がっていたそうです。このまま放置すれば輝かしい伝統をもつ誇り高い日本に暗い影を落とすと考えられ、日本人がもう一度、信頼と尊敬を受ける民族になるためのお手伝いをしようと決心されました。

帰国してから得た資財をつぎ込んで、香川県仲多度郡の多度津町に小堂を建立され、道を説き始められたのが少林寺拳法の始まりで御座います。

私は、このように人造りの道として創始された少林寺拳法を知り、技の魅力と共に単なる武道でない宗門の行としての修行を進めていくうちに、その深遠なる教えから抜け出せなくなり現在まで続けているのが現実で御座います。

◇少林寺拳法指導者の現状認識

昭和42年9月、私は初めて総本部で開催された指導者講習会を受講いたしました。その時の内容が余りにも強烈で、今でもその時の感動は心の奥に深く強く残っております。技術面での講習会を楽しみに受講したのでありますが、その内容は「少林寺拳法指導者の現状認識」という本題で、

『科学の発達は、時間と空間を極度に短縮して、大宇宙の中の一つの星にしか過ぎない地球に住んでいる人類社会は、やがては、一つの共同体になるべき必然性を包含している。各々の民族や国家は、それぞれの文化や伝統に基づく生活を営みながらも、相互に強調し、融和し、しかもそれが何人と言えども権力によって支配されず、支配せず、最新科学が生み出した無限の富を、人間の霊性に基づく高い道義心によって調和された『理想社会』にまで発展することが、人類の目指す、最高最終の目的でなければならない』

から始まり、当時の米国・ソ連の対立、その犠牲になっていたベトナム戦争。人類が生み出した科学の発達も人類終滅の武器として使用されんとしている現状、唯物思想を根底とした思想による征服戦争目前の現状、そして精神文化の貴重となるべき宗教界はその殆どが唯心論を説く団体であったり、因習と迷信に閉ざされた現世利益ばかりを目指し、多くの人たちを欺いている現状、等、等・・・

日本の現状、世界の現状を我々に分かりやすく説き明かして下さいました。

以来、このような「指導者講習会」「支部長研修会」を毎年受講して参りましたが、開祖の法話があったればこそ、浅学非才な私が40年余という永きに亘り指導者としてやってこれただと思えます。

◇少林寺拳法との出会い

昭和36年に高校を卒業し、神戸での寮生活が始まりましたが寮で知り合った友人が夕方になったらバッグを下げて出かけてゆく・・・お前どこへ行って何をやっているんだと聞いても

教えてくれない。その内に友人が、昇段試験があるので、ここを掴んでくれとか突いてくれと言ってきた時に細身の友人がいつも簡単に私が掴んだ手を抜いて見せて反撃し組み伏せられた経験がありました。その技が少林寺拳法と知ってすぐ入門したのが始まりです。

◇人吉道院開設について

私は昭和46年7月に人吉市寺町に小堂を建て、人吉道院を開設致しましたが、神戸製鋼所を退職してまで少林寺拳法を始めた経緯には次のようなことがあります。

昭和36年4月から神戸製鋼所で働いておりました。圧延工場の電気設備の保守・点検・故障時の修理作業が主な仕事でした。当時は会社の景気もよく、増資、増資と設備投資が盛んで、各職場共に新入社員が次々と配属されてきて、一定期間の実習の後、また新しい工場へ送り出されていくといった時期でした。

この時期、私は2年間ほど新入社員の教育指導員という職務を頂いておりました。

一人前の神鋼マンになって貢献したいという社員もいれば、分かってはいてもものりくらりとまるで意欲が感じられない社員など様々で、指導の難しさを思い知らされました。

その時に、人それぞれに、ものの考え方や行動の在り方が異なっているのは、その人の育ってきた環境の違いや両親からの躾の面などで大きな差が出てくるのであらうと思ひ立ち、生意気なようですが、もっと幼少のころから人としての生き方や考え方の出来る人間を育てるお手伝いをしなければ、と思ひ「拳禅一如」「力愛不二」を基調とした少林寺拳法の布教活動を始めました。

今振り返って見ますと、想いと現実はなかなか思うようにいかず、苦労ばかりの半生でもありましたが、少林寺拳法を通して人造りに真剣に取り組んでいくことにより、回りの方々から本当に温かく迎え入れて頂き、貴重な体験も数多くさせて頂きました。

道院開設当初、当時人吉市体育協会長を務めておられた『丸尾巖先生』との出会いがあり、道院開設2年目から青井阿蘇神社秋の例大祭の奉納演武に出場させて頂きました。また、善隣保育園の先代の園長『岡田精一先生』には、最初に作った道場が胸川の河川改修工事で移転を余儀なくされた時に、空いているのでと旧園舎を提供して頂き、占有道場として使用させて頂きました。そして多くの保育園卒園者、保護者に少林寺拳法を紹介して頂きました。その後も少林寺拳法の法縁で知り合った『田口善胤』『藤田重幸』『堤章』先生と、素晴らしい方々と巡り会い、本当に良き理解者として側面から温かいご支援とご協力を頂き、続けてこられた布教活動でありました。

◇今後の指導について

今後は、今まで学んできた少林寺拳法の技術

は勿論のこと、人生観・社会観を実生活に活かすと共に、ある時は自分自身の実践活動に、ある時は周りの人たちに、小さくても良いから良い面での影響を与えられるように心がけながら、そして自分自身の幸せと半ば他人の幸せを願いながら、一步一步、社会平和の実現のために精進して参りたいと思います。

■終わりの10分位を西田先生と護身の技を披露していただきました。



【ニコニコ箱委員会】

齊藤日早子委員

- ・人吉中央RC 勸米良会員 久し振りに来訪致しました。本日は田中賢治フェロコンサートの案内でお邪魔しました。宜しくお願い致します。 2,000
 - ・安達会員 松岡先生、卓話ありがとうございました。私も、もっと身を入れて自分の練習を頑張ります。 3,000
 - ・岩井会員 松岡先生、西田さん、ようこそいらっしやいました。歓迎致します。40年前、初代 宗道臣先生、笹川良一さんが熊本に来られた時、当時スキンヘッドだった私の頭をいい頭だと2人がなでられ、先生が頭を洗うなど言われたのを思い出しました。 2,000
 - ・宮原会長 松岡先生、西田先生、本日はありがとうございました。馬場会員、幻のオペラ「マメーリ」出演おめでとうございます。頑張ってください。 2,000
 - ・漆野会員 松岡先生、西田先生、ようこそいらっしやいました。うちのお利口な子供達3人がいつもお世話になります。 2,000
 - ・齊藤会員 先々週、ローターアクトを中心とした折り鶴会の発足式が立山委員長別荘万作久で行われました。平和を祈り、そして鶴を折る以上に若いすばらしい力を感じました。パーベキューにまき子奥様の手作りお煮しめ、ごちそう様でした。 2,000
 - ・馬場会員 昨日人吉新聞にオペラ「マメーリ」の記事を掲載して頂きありがとうございました。また、昨晚、鹿児島島の城山観光ホテルでボージョレーヌーボに出演しまして6曲歌わせて頂きました。会員の高山御夫婦には会場に来て頂き、応援してもらい、熱いステージとなりました。ありがとうございました。 2,000
 - ・浦田会員 前週のゴルフ表彰で、BB賞と副賞として岩本会員が愛用されていたアイアンセットを頂戴しましたので少しは上達するかもしれません。 5,000
 - ・井手会員 松岡先生、西田先生、卓話ありがとうございました。仕事で早退します。 1,000
 - ・宮山会員 早退します。 1,000
- ニコニコ・ごめんねカード11/18合計22000

点 鐘 宮原和広会長